




2022年2月10日

各位

上場会社名  藤倉化成株式会社  
 代表者 取締役社長 加藤 大輔  
 (コード番号 4620 東証第1部)  
 問合せ先責任者 取締役 管理本部長  
 栗原 進  
 TEL (03) 3436-1101

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年8月6日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。なお、本業績予想の修正に伴う1株当たり年間配当予想16円の変更は予定しておりません。

### 記

#### 1. 2022年3月期通期連結業績予想 (百万円未満四捨五入) (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	52,500	2,800	3,000	1,900	59.69
今回発表予想 (B)	48,800	1,250	1,600	1,000	31.42
増減額 (B-A)	△3,700	△1,550	△1,400	△900	
増減率 (%)	△7.0%	△55.4%	△46.7%	△47.4%	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	49,498	1,620	1,898	1,220	38.34

#### 2. 修正の理由

世界的な半導体不足や長引く新型コロナウイルスの影響により、上期時点で見込んでいた事業環境が想定以上に減速し、中でも主力であるコーティング事業においては、自動車産業界における減産の影響が大きく、需要が国内外において低調に推移したため、売上高は前回発表の業績予想を下回る見通しです。

利益面につきましては、原油価格の高騰及びサプライチェーンの混乱が長期化し、原材料価格が想定より10～15%上昇しました。製品価格の値上げ、代替品の調達、活動費の削減等の施策に努めておりますが、コストの上昇を吸収するには至っておりません。

これらの要因による主要拠点(日本、米国、欧州)への影響は大きく、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ前回発表の業績予想を下回る見通しです。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後新型コロナウイルス感染症の拡大等様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以上